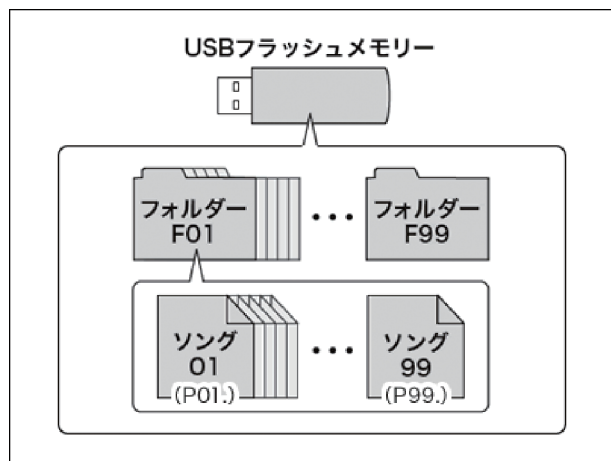


購入データの確認とご利用方法

はじめに

■フォルダーとソングの構成について



USBフラッシュメモリーの中には、F01～F99まで99個のフォルダーを作成できます。また、1つのフォルダーには、99個のソング（レジストデータ）を持つことができます。これらのソングは、MDR-5上で順にP01.～P99.というように表示されます。

エレクトーンデータショップで購入したデータを利用するには、お客様ご自身でフォルダーを作成し、「ミュージックソフトダウンローダー」（無料ソフト）を使ってデータを移動する必要があります。（フォルダーは自動的に作成されません。）

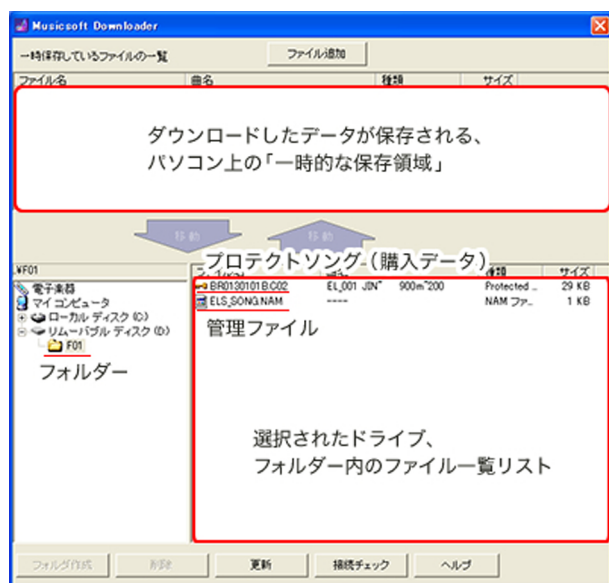
※ MDR-5ではUSBフラッシュメモリーを差すと、F01～F99まで選択できますが、この状態ではメモリー内にまだ実際のフォルダーは作成されていません。MDR-5上でご自身で作成されたデータ等を保存したときに、実フォルダーが作成されます。

（参考）

Mumaで購入した場合は、F01～F99のフォルダーとは別に「MumaEL」フォルダーが作成され、その中にフォルダーが作成されます。フォルダーは最大99個まで作成されます。（P8「Mumaで購入したデータの確認方法」を参照）

※ MDR-5上でご自身で作成されたデータは購入データのあるフォルダーにも保存できますが、ミュージックソフトダウンローダーでファイルを移動することはできません。

■プロテクトソングとは？



エレクトーンデータショップで購入したデータは、著作権保護のため、プロテクトがかけられています。このためパソコン上でコピーや移動ができません。ミュージックソフトダウンローダーを使ってデータの移動を行う必要があります。

※ ミュージックソフトダウンローダーを使用せずに、通常のパソコンのファイルと同様に取り扱うと、データが破損し、再生できなくなりますので、ご注意ください。

データショップよりダウンロードした際に、プロテクトソング（以下、データあるいはソングと呼びます）は *****.C02 という形式でダウンロードされます。このデータをミュージックソフトダウンローダーでお使いの USB フラッシュメモリーに移動します。このデータが1つのソングとして扱われ、MDR-5上では順にP01.～P99.というように表示されます。

※ ネクストレジストを使用するソング（1ソング内に複数のレジストが保存されているソング）の場合も、MDR-5では1ソングとして扱われます。

■管理ファイルとは？

ミュージックソフトダウンローダーを使って、データを USB フラッシュメモリー内に移動すると、ELS_SONG.NAM というファイルが生成されます。これは、1つのフォルダー内にあるデータの情報を管理しているファイルです。フォルダーに移動されたデータから順にこの管理ファイルに登録されます。MDR-5ではP01.～P99.として表示され、この順に再生されます。

※ 再生トラブルの原因になりますので、パソコン上で「ELS_SONG.NAM」の修正・削除を行わないでください。

※ ミュージックソフトダウンローダー Ver.5.7.0より、管理ファイルの内容表示に対応しました。MDR-5でのソング再生順をミュージックソフトダウンローダー上で確認できます。詳しくはP7の「ソング再生順の確認」をご参照ください。

操作の流れ

エレクトーンデータショップ購入したデータを MDR-5 でご利用になるには、以下の手順で操作を行っていただく必要があります。またデータショップからのダウンロード、パソコンから USB フラッシュメモリーへのデータの移動には、「ミュージックソフトダウンローダー」（無料ソフト）が必須となります。まだインストールしていない場合は、以下よりダウンロードの上、必ずインストールを行ってください。

<http://www.yamaha.co.jp/download/msd/>

購入データのご利用までの流れ

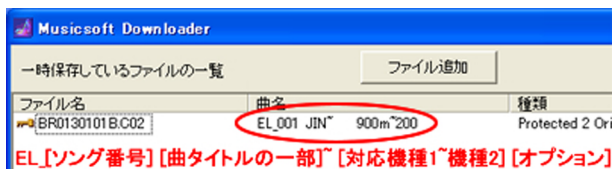


購入データの確認とご利用方法

■ 単曲購入の場合

エレクトーンデータショップで単曲購入し、はじめて USB フラッシュメモリーを使う場合を例として説明します。

1. 購入データの確認



ダウンロード購入したデータをミュージックソフトダウンローダー上で確認します。「一時保存しているファイルの一覧」で「曲名」の列を参照します。

(注意)

購入データの中には、1 曲でも複数ファイルから構成されるデータもあります。エレクトーンデータショップのダウンロードページを参照し、ダウンロードしたファイル数が合っていることを確認してください。詳しくはエレクトーンデータショップのヘルプ [どんなデータが購入できるの?] をご参照ください。

http://www.music-eclub.com/eldata/help/?id=sum_2

曲名の見方

ソング番号

曲集に収録された順で、001 からソング番号がついています。*

※ 変換元データの仕様により、曲集によっては、一部のソング番号が欠番になっている場合があります。詳しくは「具体的な変換方法について」をご参照ください。

<http://electone.jp/product/mdr-5/faq.php#cap09>

曲タイトルの一部

実際の曲名の一部がアルファベット（大文字、小文字）や記号で表示されます。

対応機種

EL シリーズの対応機種が表示されます。

900m~900B : EL-900m/900/900B に対応したデータであることを示します。

900m~200 : EEL-900m/900/900B/700/500/400/200 に対応したデータであることを示します。

700~200 : EL-700/500/400/200 に対応したデータであることを示します。

100 : EL-100 のみに対応したデータであることを示します。

90/87 : EL-90/87 に対応したデータであることを示します。

57~37 : EL-57/50/37 に対応したデータであることを示します。

例) EL_001 JIN~ 900m~200

オプション

サポートデータまたは、演奏データを収録する場合に記号がつきます。

サポートデータ収録の場合：機種名のあとに「SP」がつきます。

演奏データ収録の場合：機種名のあとに「DM」がつきます。

例) EL_001 CHOU~ 900m~200 SP

※ ただし月刊エレクトーンの「サポート付きレジスト」データについては以下のように、曲名の前に「XG」をつけた表記となります。

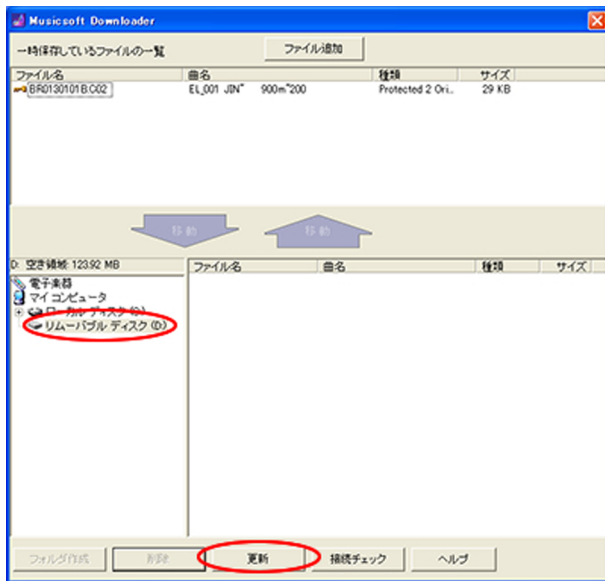
例) EL_002 XG Sing 900m~900B

※ 1 曲で複数のソングから構成される楽曲の場合、2 つめ以降のソングで (2)、(3)・・・ と表示されます。
この場合、曲タイトル表示部分、機種名表示がなくなります。また一つ前のソングの番号と必ず連番になります。

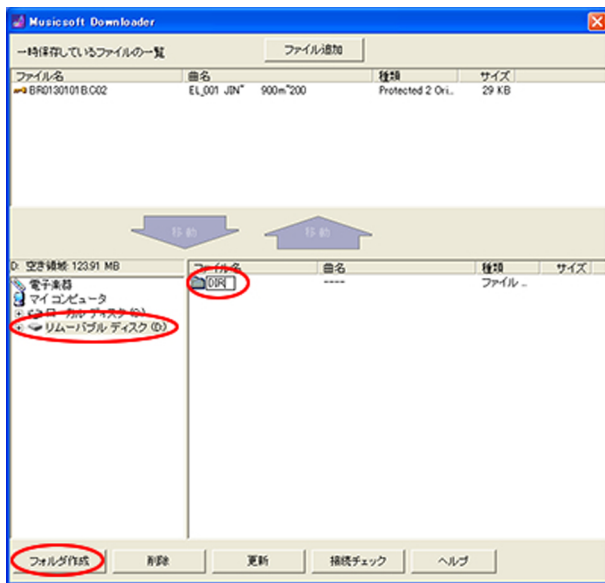
例) EL_003 CHOU~ 90/87
EL_004 (2)

2.USB フラッシュメモリー上にフォルダー作成

USB フラッシュメモリーのドライブ直下に新規にフォルダーを作成します。



ウィンドウ左下の「リムーバブルディスク」を選択します。
ミュージックソフトダウンローダー起動後に USB フラッシュメモリーを挿入した場合は、ウィンドウ下の「更新」ボタンをクリックしてください。



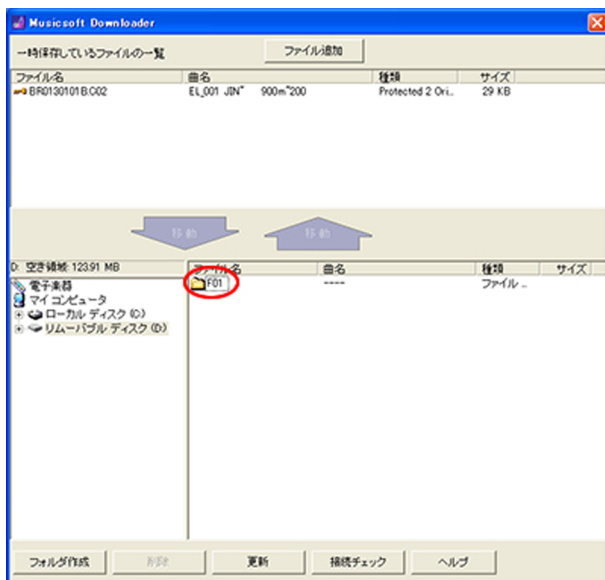
「リムーバブルディスク」を選択し、ウィンドウ左下の「フォルダ作成」ボタンをクリックします。

ウィンドウ下、右側のコンテンツ表示領域に DIR という名前のディレクトリが生成しますので、フォルダー名をつけかえます。
フォルダーを選択し、フォルダー名のテキストボックスをクリックして、「F01」という名前に変更してください。

MDR-5 でこの USB フラッシュメモリーを使ってデータ保存を行った場合は、すでに何らかの「F**」フォルダーが生成されています。その場合、最後の「F**」の連番になるようにフォルダー名を設定してください。

※ フォルダー名は「F01」～「F99」までが有効です。それ以外のフォルダー名をつけても MDR-5 上で認識されません。

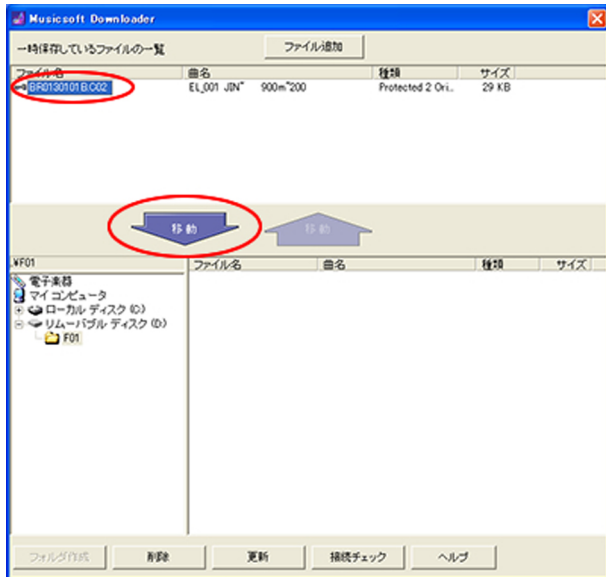
※ フォルダー名は半角で入力してください。



画面下に作成したフォルダー「F01」をダブルクリックします。
(1つ下の階層、「F01」フォルダーの直下に移動します。)

3. データを移動

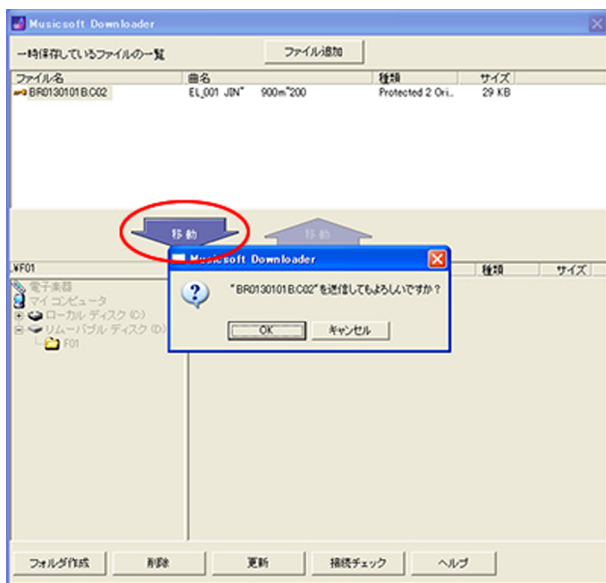
USB フラッシュメモリーに作成したフォルダー内にデータを移動します。



「一時保存しているファイルの一覧」にある、購入データを選択します。(ファイル名か先頭の鍵マークをクリックします。)

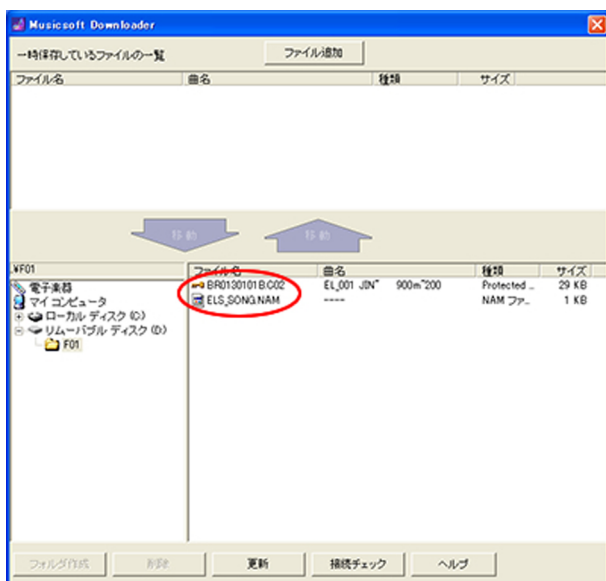
1 曲につき複数ファイルからなるデータを購入した場合は、すべてのファイルを選択します。

「移動」の矢印ボタンをクリックします。



“*****.C02”を送信してもよろしいですか?と確認ダイアログが出ます。

OK ボタンをクリックすると、データの移動が開始されます。



データの移動が終わると、コンテンツ表示領域に「*****.C02」というデータが表示されます。

これで利用の準備ができました。

※ またフォルダー内に、ELS_SONG_NAM という名前の管理ファイルが作成されます。

管理ファイルには USB フラッシュメモリーのフォルダー内に移動された順にデータが登録されます。

これが MDR-5 での再生順になります。

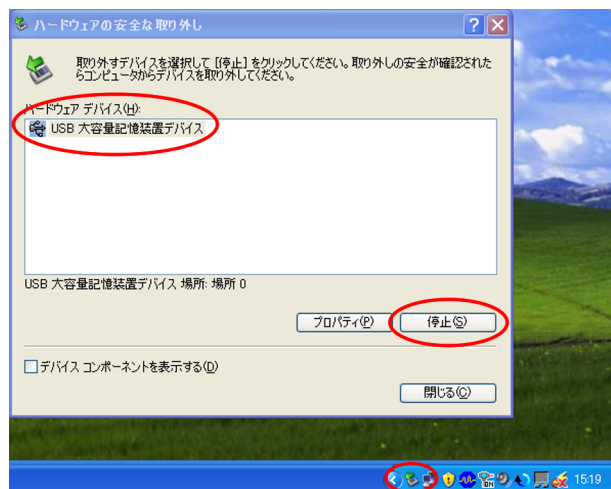
※ 1 つのフォルダーには 99 個のソングを保存できますので、複数のデータを購入した場合はこの操作を繰り返して同一フォルダー内にいくつかのデータを置くことができます。

ただし、MDR-5 本体での再生順は“フォルダーに移動した順”になりますので、ご注意ください。

※ ミュージックソフトダウンローダー Ver.5.7.0 より、管理ファイルの内容表示に対応しました。MDR-5 でのソング再生順をミュージックソフトダウンローダー上で確認できます。詳しくは P7 の ■ソング再生順の確認をご参照ください。

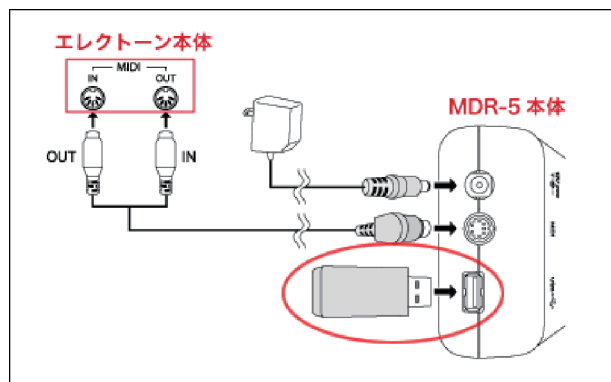
4.USB フラッシュメモリーを MDR-5 に装着

USB フラッシュメモリーをお使いのパソコンから取り外し、MDR-5 に装着して再生します。



パソコンから USB フラッシュメモリーを抜きます。

※ パソコンから USB フラッシュメモリーをはずすには、Windows の「ハードウェアの安全な取り外し」機能を使って取り外してください。

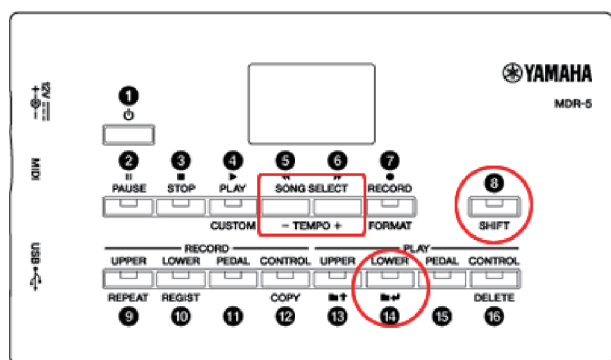


エレクトーン本体と MDR-5 が接続されていることを確認してください。USB フラッシュメモリーを MDR-5 の USB ポートに挿入します。

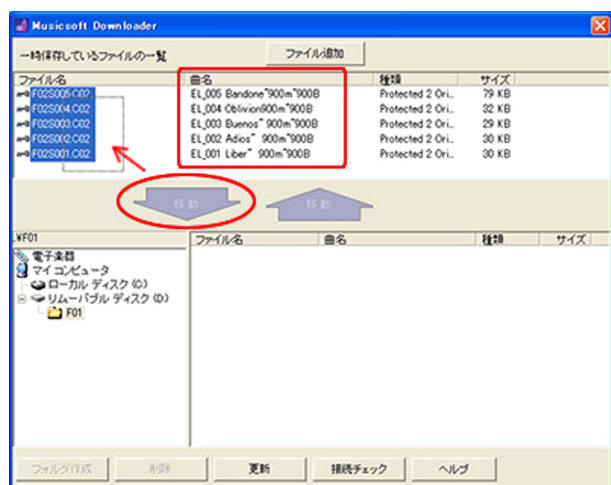
MDR-5 上で、「F01」フォルダーを選択します。
(MDR-5 の電源を ON にすると「F01」が表示されます。)

SHIFT ボタンを押しながら LOWER ボタンを押し、ソングの階層へ移動し、「P01」を選択します。

※ MDR-5 操作の詳細については、取扱説明書 P20 ~ 21、33 ~ 34 をご参照ください。



■セット商品を購入した場合



セット商品を購入した時は、セット曲集内の最後の曲データから順にダウンロードされます。

(複数ファイルからなるデータを単曲購入した場合も同様にダウンロードされます。)

まず、エレクトーンデータショップのダウンロードページを参照し、ファイル数が合っていることを確認してください。

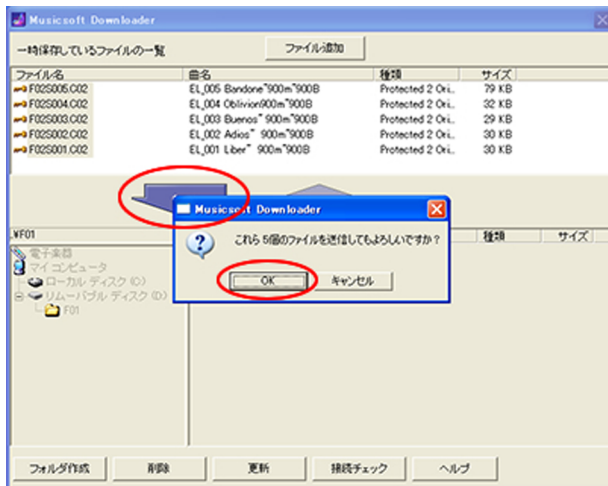
次に単曲購入の場合と同様に購入データの確認をします。

※ 曲集内に、ネクストソングを使用した楽曲 (1 曲で複数のソングをもつ楽曲) を変換したデータがある場合、ネクストレジストに置き換わり、複数ソングが 1 ソングにまとめられます。

そのためセット商品を購入されても、一部のソング番号が欠番になっている場合があります。詳しくは「具体的な変換方法について」をご参照ください。

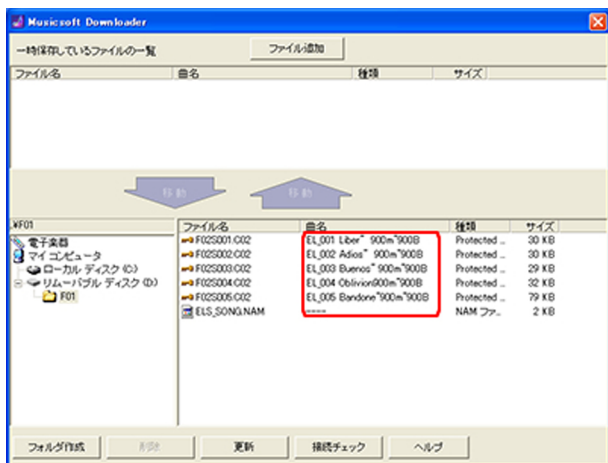
<http://electone.jp/product/mdr-5/faq.php#cap09>

単曲購入の場合と同様に USB フラッシュメモリー上にフォルダーを作り、「一時保存しているファイルの一覧」より購入した全データを選択します。選択するには、マウスですべてのデータをドラッグするか、一番上のデータを選択して、Shift キーを押しながら一番下のデータを選択します。



データを選択すると、矢印の「移動」ボタンが選択可能になります。これをクリックします。

確認ダイアログが表示されますので、OK ボタンをクリックします。リスト下のデータから順に移動されます。



移動後、USB フラッシュメモリーのフォルダー内で、ソング 1 (EL_001 …) から順にデータが並んでいることを確認してください。

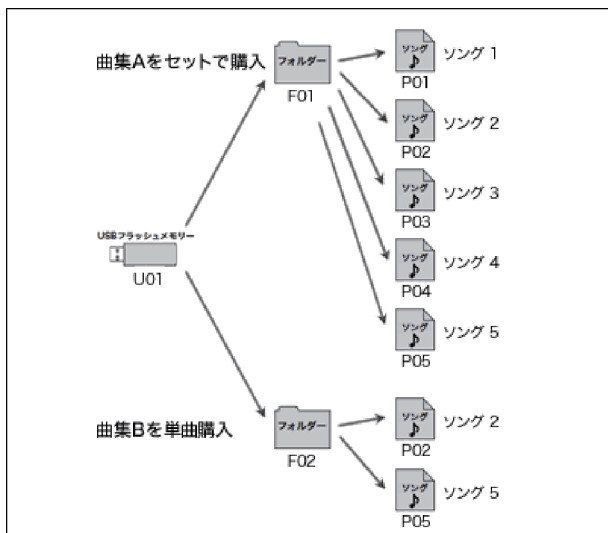
※ セット商品を購入されても、一部のソング番号が欠番になっている場合があります。

※ フォルダ内に、ELS_SONG.NAM という名前の管理ファイルが作成されます。管理ファイルには USB フラッシュメモリーのフォルダ内に移動された順にデータが登録されます。これが MDR-5 での再生順になります。

※ ミュージックソフトダウンローダー Ver.5.7.0 より、管理ファイルの内容表示に対応しました。MDR-5 でのソング再生順をミュージックソフトダウンローダー上で確認できます。詳しくは P7 の ■ソング再生順の確認をご参照ください。

補足

■USB フラッシュメモリーの使いこなしガイド



👉 曲集ごとにフォルダを使い分けましょう!

1つのフォルダには同じ曲集のデータを収めるようにします。曲集ごとにフォルダを分けるようにすると混乱がありません。

1つのフォルダに異なる曲集のデータを置いてしまうと、ソング番号が同じ場合、判別がしにくくなります。

👉 データの移動は必ずソング番号の若いものから順に!

単曲購入し、フォルダにデータを複数、移動する場合、ソング番号の小さいものから順に (昇順で) 移動するようにしてください。

ミュージックソフトダウンローダーでは並び替え機能により、MDR-5 の再生順とは異なった順に表示されることがあります。

👉 セット商品は全データを選択して、一気にまとめて移動しましょう!

データを移動する場合は、必ずセットの全データを選択するようにします。1曲につき複数ファイルからなるデータを購入した場合も同様に操作します。部分的なデータの移動を繰り返すと、管理ファイルでの登録順がくずれる場合がありますのでご注意ください。

また、1つのフォルダに1つの曲集セットを収めるようにすると混乱がありません。

👉 フォルダ内に移動したデータの組みかえは避けましょう!

一度、移動したデータの一部だけを、再び「一時的な保存領域」に戻すと、その後の操作で管理ファイルの登録順がくずれることがあります。やむを得ない場合を除き、この操作はしないよう、おすすめいたします。

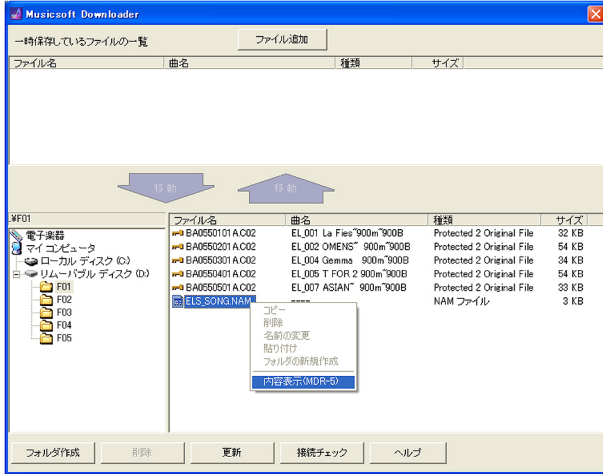
■ソング再生順の確認

ミュージックソフトダウンローダーではデータのファイル名で並べ替えてリスト表示する機能がありますが、MDR-5 ではデータの移動時に作られた管理ファイルによりソング番号 (P01. ~ P99.) が割り当てられます。このためミュージックソフトダウンローダーでの表示と MDR-5 でのソング再生順が異なることがあります。ミュージックソフトダウンローダーでは以下の手順により、MDR-5 でのソング再生順を確認できます。

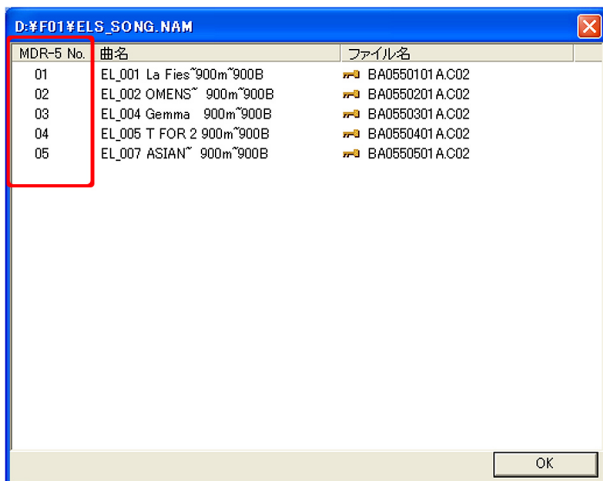
※ この機能はミュージックソフトダウンローダー v5.7.0 以降で対応しております。Ver.5.7.0 未満をお使いの方は、ミュージックソフトダウンローダーのページより最新版をダウンロードし、インストールしてください。

<http://www.yamaha.co.jp/download/msd/>

確認方法



確認したいフォルダにある「ELS_SONG.NAM」を選択し、マウスの右ボタンをクリックします。メニューのいちばん下に表示される「内容表示(MDR-5)」を選びます。

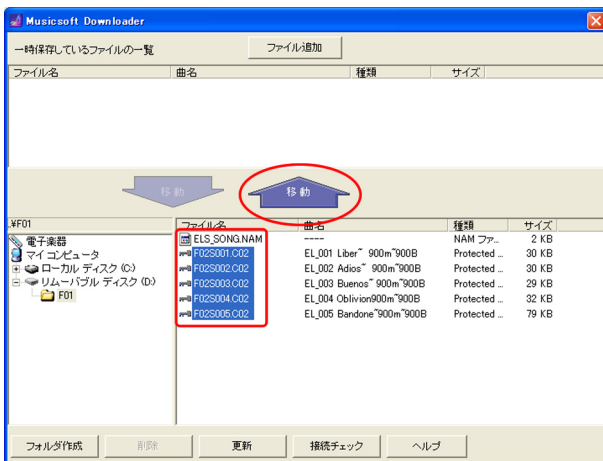


別ウィンドウが開き、MDR-5 でのソング番号と曲名、ファイル名が表示されます。曲名の表については P2 の「1. 購入データの確認」をご参照ください。

■意図しない順に再生される場合の解決方法

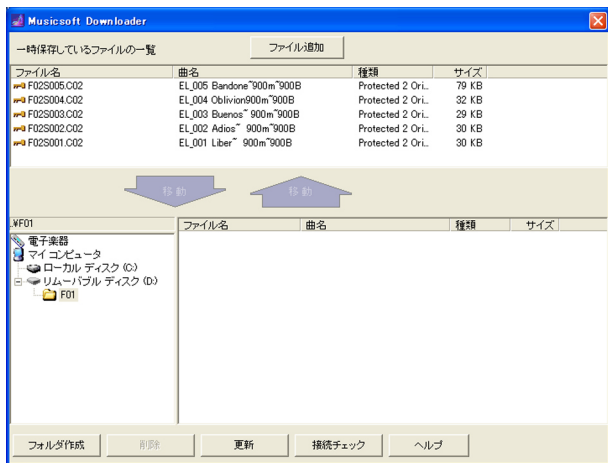
MDR-5 でのソング再生順を変更したい場合は、以下に示す方法に従って操作してください。

解決方法

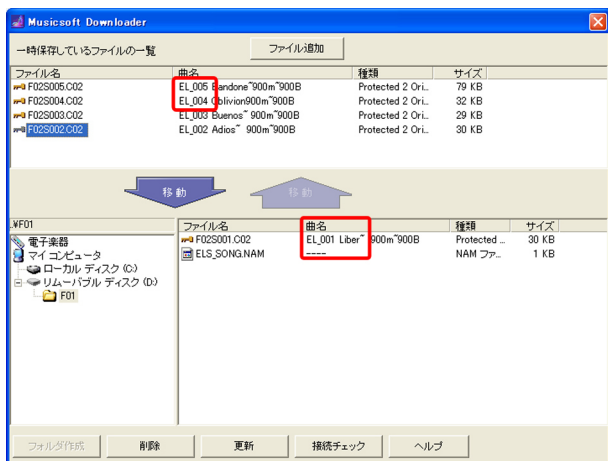


1. 同一フォルダー内のすべてのデータを選択します。

※ 上図では、ソング番号順にデータが並んでいますが、ソング 1 からソング 5 の順にフォルダへ移動しなかった場合は MDR-5 での再生順が異なってきます。



2. 「一時的な保存領域」へいったん、すべて移動します。



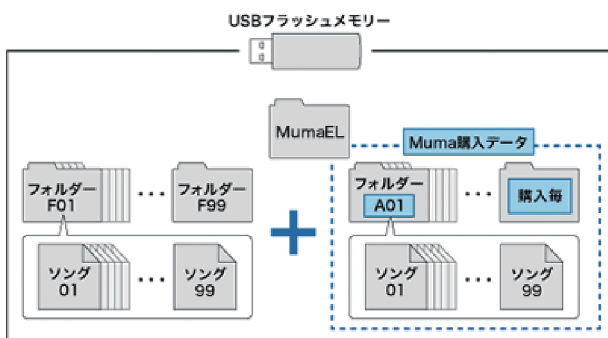
3. 曲名を確認し、ソング番号の小さい順（昇順）に1つずつデータを選択し、再び同じフォルダーに移動します。

4. この操作を繰り返し、すべてのデータをもとのフォルダーにもどします。

5. 「■ソング再生順の確認」の手順にしたがって、再生したい順にソングが並んでいるか確認します。

以上で、管理ファイルへの登録順とミュージックソフトダウンローダーでの表示が一致し、MDR-5でもこの順で再生されるようになります。

■Muma で購入したデータの確認方法



Muma で購入したデータも、ミュージックソフトダウンローダーを使って、データの確認や移動を行うことができます。USB フラッシュメモリーの中には、F01 ~ F99 の 99 個のフォルダー以外に Muma 専用の領域があります。Muma でデータを購入すると、USB フラッシュメモリーの直下に「MumaEL」というフォルダーが自動作成され、さらにその中にフォルダーが 99 個まで作成されます。

これらのフォルダーは MDR-5 本体では、A01 ~ A99 として表示されますが、購入時のフォルダー名は、A** を含んだ日本語文字列となっています。

例)	Muma でのフォルダー名		MDR-5 で表示されるフォルダー名
	#A01 あいうえお (曲集名)	→	A01
	#A02 かきくけこ (曲集名)	→	A02
	#A03 さしすせそ (曲集名)	→	A03
	⋮		⋮

各フォルダーにおさめられたプロテクトソングについては、エレクトーンデータショップで購入したものと同一曲名表示になっています。P2 の「1. 購入データのご確認」を参照して、データの確認を行うことができます。